

みなさんは、自分の将来について考えたことはありますか。なりたい職業は見つかりましたか。この質問に、見つけられたという人もいれば、見つけられてないという人もいることでしょう。

私が今から主張することは、簡単にまとめると「経験」と「将来」この2つです。私の主張を聞いてもらった後は、ぜひもう一度みなさんに将来について考えてもらいたいです。

私には、夢があります。それは、「看護師」になることです。私は生まれた時から先天性の病気を患っており月一回の通院、年一回の検査入院を今でもしています。私が小学生の頃は今よりずっと体調が悪くなく、入院して退院、また入院の繰り返しでした。自分も限界だったし、母にもたくさんの苦労や迷惑をかけてつからったです。そんな時、私のそばにいつもいてくれたのが看護師さんでした。私が入院して誰もしゃべる人がいない中、カーテンを開けて、「真白ちゃん！」といつもニコニコ笑顔で話しかけてくれました。私の体の体調を確認する時も、ちょっとした雑談などの話をふってくれるので、その時一番元気がわいてきました。

看護師さんは、病棟や診察室だけにいるわけではありません。私たちが普段見ない所でも一生懸命働いています。その一つが手術室です。私は手術室に何度も入ったことがあります。だけど、何回入っても怖いのです。慣れません。時には怖くて不安になり、手術室に入って台にあお向けになったとき、静かに涙がこぼれ落ちたことがあります。その時看護師さんは、小さな涙の一粒でも、私の感情に気付いて下さったのです。優しくあたたかい手で、私の手をぎゅっと握って「大丈夫。大丈夫だよ。」と励まして下さいました。私は忘れません。あの寒々とした部屋と「ピロピロ・・・」と機械の音が鳴り響く中、「大丈夫だよ。」と私の目を見てしっかり言って下さったことを。

私は「看護師」の仕事は患者さんを看護すること、少しでも安心してもらえるようにコミュニケーションなどをとって少しでもリラックスしてもらえるようにすることが仕事だと入院を繰り返す前から分かっていました。でも、長年、看護師さんに親切にしてもらおう患者の側になって、看護師さんの本当の素晴らしさに気付き、看護師になろうと思ったのです。

私はこの経験を悪くとらえるのではなく、逆に私に歩むべき道を教えてくれた思い出となったので、自分が患者であることに感謝しています。私がいる所でもない所でもしっかり見ていて下さった看護師さんがいたことにも本当に感謝です。

私のように、ある経験をしたことで、こんな仕事に就きたいと思うようになる人がいるかもしれません。経験とは今まで挑戦すること、苦手な事をやることだと思っていました。辞書での「経験」は、「実際に見たり、聞いたり、行ったりして、まだしたことがない状態から、したことがある状態に移ること。」と書いてあり、私の考えたこととほとんど同じでした。でも私は、もう一つの意味を見つけました。それは、「自分を将来の夢へ導く行動」です。ある経験をした人は、同じ経験を又将来したいと思う人もいれば、経験を「楽しかった。」「難しかった。」と思うだけで終わらせてしまう人もいます。

私が言いたい事は一つ。将来を早く考えろと言いたいものではありません。今までの経験を無駄だとは思わず、一つ一つの経験を大切に、たくさんの経験を積むべきだということです。そうすれば、自分の将来の夢が見つかり、自分が選んだ将来を悔いなく歩むことができるのではないのでしょうか。たくさんの経験を積みながら、あせらずゆっくりと自分の未来を切り開いていきましょう。